

ARCHDIOCESE OF TOKYO

2013/3/14

東京教区補佐司教・総代理

幸田和生

新教皇のための典礼について

+主に賛美

日本時間で本日未明、新しい教皇が決まりました。第266代教皇に選ばれたのは、アルゼンチン人で、ブエノスアイレス大司教のホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿です。新教皇は「フランシスコ」と名乗られます。フランシスコ教皇は、1936年12月17日、ブエノスアイレスの生まれ（76歳）。1958年、イエズス会入会。1969年、司祭叙階。1992年、ブエノスアイレス補佐司教。1997年、同協働司教。1998年、同大司教。2001年、教皇ヨハネ・パウロ2世によって枢機卿に任命されました。

東京教区では以下のように祈りをささげることにいたしました。すべての信者の皆様のお祈りをお願いいたします。

(1) 今日からすべてのミサの奉献文の取り次ぎの祈りで、新教皇の名前を唱えることとなります。

(2) 「新教皇のためのミサ」

本日3月14日（木）午後6時

東京カテドラル聖マリア大聖堂関口教会にて

岡田武夫大司教主司式

各教会・修道院でも、四旬節・復活節の主日、主の復活の8日間、聖週間を除いて、新教皇のためのミサを行うことができます。小教区には先日、司教協議会からの「新教皇が選出されたときのミサについて」という文書を配布してあります。また、中央協議会のウェブサイトもご参照ください。

<http://www.cbcj.catholic.jp/jpn/feature/2013/vacant/20130307.pdf>

(3) 3月17日（日）には、四旬節第5主日（洗礼志願者のための典礼）のミサを行います。共同祈願の中で、新教皇のための意向を加えてください。

以上、よろしく願い申し上げます。